



【中国情報】

丸松物産株式会社

中国産山クラゲは、二年前の原料価格の高騰により、主な輸出先である日本と台湾での需要が激減してしまい、また一方で、中国国内の人件費が近年20%ずつ上昇している事もあって、山クラゲを栽培していた農家やその取扱い業者では、その採算が思ったほど見込めなかったようです。その後、生産農家では、山クラゲよりも換金性の高い作物を求めての転作や出稼ぎを行うなどの行為が目立つようになり、山クラゲへの栽培意欲が減退した結果、今秋の山クラゲは、春物と比べてその栽培面積が半減してしまい、価格の高騰に更に拍車を掛けている模様です。

【中国でも進む少子高齢化】

人口政策は国の長期発展や民族の前途に関わる重要な政策だ。これまで、中国の人口基数は高く、急速に増加していると考えられていた。しかし、2010年に実施された国勢調査によると、中国の人口の動向には大きな変更が生じていることが分かる。人口の減少、出生率の低下、アンバランスな年齢構造、急速に進む高齢化などの問題が中国の経済・社会の発展の雲行きを怪しくしている。これらの問題の解決策に関して、中国発展基金会の盧邁(ルー・マイ)秘書長に聞いた。

盧秘書長は、「00-10年の10年間、中国の人口増加率は年間平均0.57%。前10年間の1.07%を10年、60歳以上の高齢者の人口が1億7800万人に到達。総人口に占める割合が1982年の7.26%と中国も少子高齢化社会であることを示し、「65歳以上の高齢者の割合は27年に15%、35年には20%をそれぞれ突破し、50年には25%を超えると予測されている。国際連合の基準を基にすると、中国は00年にはすでに高齢化社会に突入していた」とした。

11年、中国の65歳以上の高齢者が占める割合は国民全体の9.1%になり、日本が90年代のバブル崩壊後に経験した高齢化のレベルに近づいている。さらに「第12次五ヵ年計画(06-10年)」の期間中、中国は日本と同じように、15-64歳人口に対する65歳以上人口の比率(老年人口指数)が急に高まった。結果的に中国はまだ発展途上国であるにもかかわらず、高齢化社会に入ったことだ。

「人民網日本語版」2012年11月5日少子高齢化進む中国、専門家「二人っ子政策必要」より抜粋

【お奨め商品情報】

	商品名	和総菜 ごぼう蒟蒻 (1kg×10袋入り)	
	商品特徴	「ごぼう」と「こんにゃく」の食感と風味にとことんこだわり、白ごまと唐辛子を加え丁寧に炊き上げました。お弁当や小鉢に最適です。	
	主要原材料	ごぼう(国産)、こんにゃく(国産)、白ごま、唐辛子	
	賞味期限	製造日より6ヶ月(常温保存)	
	使用上の注意	開封後は5℃以下で冷蔵保存し、3日以内にお召し上がり下さい。	
			【盛付け例】

以上